

申4号「北鴻巣駅における1868Eの発煙に関する申し入れ」について団体交渉を行う！

9月29日に団体交渉を行いすべての項目について議論しました。

特徴的な議論

(組合) 今回の事象についての問題意識についてどう考えているのか。

(会社) 今回の事象は火災につながるかもしれない重大な事象と受け止めている。そのため、刃型スイッチの汚損、水の侵入の有無、ワイプの異常、グリスの塗り具合、ボルトの配線の緩みがないか等について一斉点検を実施してきた。高崎車両センター本所、事故当該車両所属の国府津車両センターは全車点検が終了した。小山車両センターは確認できてない。

(組合) 今回の事象の原因についてわかっていることを示してほしい。

(会社) 発煙の原因について横浜支社に確認したところ、故障部品はメーカーで調査中。通電を良くするための漏電性グリスの量が適切でなかったかもしれない。一斉点検する中でグリスの垂れによる地絡痕が3件見つかった。今年は外気温が高く暑さで垂れてきたかもしれないのでグリスの性能等も含めて調べている。

(組合) 指令から運転士に、「現状維持」と指示されていたのに、発煙個所の蓋が戻されていた。

(会社) 籠原運輸区から副区長と指導員の2名が駆け付けた。蓋が復位されたことについて、指令や現地責任者の指示に基づくものと考えられるので問題ない。

(組合) 現地責任者は誰を指定したのか。

(会社) 一番はじめは運転士。その後、応援に駆け付けた地区指の方を指定している。

(組合) 現地責任者の引継ぎがされてないことから、現場には現地責任者が2人居る状況であった。指令からの連絡も伝わらなかったのではないかと、現地責任者への引継ぎすることを再周知すべきだ。

(会社) 意見は賜るのでやり方については調整していく。

(組合) 正式な原因と対策はいつまでに出るのか。

(会社) 10月中旬までには出せるように動いている。

(組合) 周知はするのか。

(会社) 車両センターには必ず行う。

(組合) このような事象については乗務員に対しても必要であり周知すべきである。

(会社) 乗務員へ周知のやり方については乗務員グループの判断になる。意見があったことは伝える。

(組合) そうであれば原因と対策がまとまったら、再度交渉したいので継続議論としたい。

(会社) 原因と対策については責任を持って周知していくので交渉は終了したい。

(組合) 私たちは、組合員の声に基づき原因と対策についてこの交渉の場で明らかにする目的がある。本日の議論ではそれが示されなかったことから、継続議論としたい。

(会社) 今後のやり方については窓口で整理したい。

・原因と対策が示されないことから継続議論を求めるも、意見対立!!
・乗務員の周知をすることは必ずやるとは言えないことから対立!!

乗務員に対して事象の原因と対策がしっかりと周知されるのか検証しよう!!

周知がされない等の問題があれば再申し入れを含めて検討します!!